

## 令和6年度半田市中心市街地活性化市長特任顧問評価委員会 要旨録

開催日時	令和7年2月10日（月）10時30分～12時00分
開催場所	半田市市役所 4階 庁議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 挨拶</li> <li>2. 活動報告（産業課）・質疑</li> <li>3. 活動報告（特任顧問）・質疑</li> <li>4. 評価結果発表</li> <li>5. 意見交換</li> </ol>
出席委員	（評価委員）半田商工会議所副会頭 水野貴之、株式会社 Mizkan J plus Holdings 執行役員 人事本部 副本部長兼総務部長 中村 秀樹、全国タウンマネージャー協会事務局長 佐野 荘一、半田市副市長 山本卓美、半田市企画部長 山田宰、半田市市民経済部長 大山仁志 ※敬称略
その他出席者	（オブザーバー）半田市長 久世孝宏
次第	議事要旨
【挨拶】	<p>（市長）</p> <p>皆様大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。特任顧問の評価は、非常に難しいと感じている。半田市として初めての取り組みであり、まる2年たったが、内部だけでは見えにくい部分もある。外部の評価委員の方々の客観的なご意見をいただきたい。よろしくお願ひします。</p>
【活動報告】	<p>（産業課長）</p> <p>半田市市長特任顧問のこれまでの取り組み状況について、以下の項目を順に説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特任顧問の勤務時間</li> <li>・はんだ市報に掲載した特任顧問の活動状況</li> <li>・半田市中心市街地活性化基本計画</li> </ul>
【活動報告への質疑・意見交換】	<p>（佐野委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画は国の補助が入るか。</li> </ul> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助の予定は無いが、申請時にすぐ対応できるよう書類の準備はしている。</li> </ul> <p>（中村委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特任顧問に求める役割は何か。</li> </ul> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集する際は、まちなかに出て行き、まちなかで活躍できる方を求めた。中心市街地活性化事業については、しっかりと対話とコミュニケーションを図りながら進めていきたい。中心市街地活性化の牽引役として、民間のノウハウを活用し、それを市の職員に伝授しながら、事業を進めていただくことを求めている。</li> </ul> <p>（水野委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特任顧問はいろんな経験を持っており、半田市のために尽力されている。ご本人から見た半田市の評価は、評価委員として知ることができるのか。</li> </ul>

	<p>(水野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価委員としても、民間代表としても、現在の取り組みについて双方向での評価が知りたい。</li> </ul>
	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で双方向の評価は予定していない。ただ、特任顧問からは、半田市の動きはスピード感があり、他の自治体であれば2～3年かかる取り組みだと言われている。これは、商工会議所を含めた地域の皆様の理解があつてのことだと考えている。特任顧問から見て半田市民の評価をすることは考えていない。しかし、特任顧問の手法が正しくても、地域の方に賛同していただかないと進んでいかないため、双方向の情報共有、相互理解は引き続き継続していく。</li> </ul>
	<p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の方から、双方向の理解のために特任顧問の取り組みが知りたいという話があるなら、そのような機会を設けていきたいと思う。特任顧問が市民を評価することはない。</li> </ul>
	<p>(水野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価という言葉が先行してしまった。特任顧問から見た課題はあるか。半田市外の方からみて、どうしたら選ばれるまちになるのか、課題を教えていただきたい。</li> </ul>
	<p>(副市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特任顧問から説明いただく際、課題を明確にしたうえで説明いただくこととする。</li> </ul>
【活動報告】	<p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半田市中心市街地活性化は、だいぶ芽が出てきた、花も咲いてきたが、未だ途中であるとした上で、下記の点について説明</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①今年度完成したコココリンの収益見込み</li> <li>②クラシティやおおまた公園への波及効果</li> <li>③ワークショップの必要性</li> <li>④外部プロデューサー、民間人材の必要性</li> <li>⑤民間主導の持続可能なまちづくり風土の必要性</li> </ol>
【活動報告への質疑・意見交換】	<p>(水野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の予定は達成できたか。できていなければ課題は何か。あわせて自己評価を伺いたい。</li> </ul> <p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね達成できているが、おおまた公園の活用等、まだ未達成の部分もある。</li> <li>・今後は、都市計画的な立場での仕組みづくりが必要である。府内連絡会議は立ち上げたが、市民経済部以外の部署とも連携をしていかなければいけない。行政がどのようにまちづくりを誘導していくかについての議論は進んでおらず、課題と考える。</li> <li>・自己評価については、まちづくりの仕組みづくりや考え方については、私が中心となり、ワークショップを用いて職員等にも伝えることができているが、地域の調整等はまだ途中である。</li> </ul> <p>(中村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この2年間、特任顧問の持つ力が十分に発揮されていると感じる。</li> <li>・今後、まちづくりの自走化に向けての具体的な動きになるが、特任顧問はどのような役割で務められるのか。今後はどのようなリーダーシップが必要で、不足するリソースは何か伺いたい。</li> </ul>

	<p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年3月末を最初のフェーズとして捉えている。来年度以降は、新たなフェーズに入る。今後は、都市計画の視点から取り掛かる必要があると考えている。</li> <li>・Aエリアのまちなかにおいては、民間のマネージャーが不足している。本来は、総括する者人物と、現場で動ける人物が連携していくと良い。</li> <li>・Bエリア、Cエリアについても、関係企業等に対し、まずは勉強から始めませんかと投げかけている。</li> </ul>
	<p>(市民経済部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初はAエリアに重点的に取り組むという予定ではなかったか。</li> </ul>
	<p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も、Aエリアに8割の力をかけていく予定である。Bエリア、Cエリアについては、庁内の部長と連携を取りながら進めていきたい。</li> </ul>
	<p>(企画部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aエリアについて、民間が主体となって事業を進められることが理想だが、今後どのように働きかけて理想に近づけていくか。そのシナリオはあるか。</li> </ul>
	<p>(特任顧問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街中で動けるマネージャーの確保と、行政が金銭面も含めて支えていく仕組みづくりが必要である。民間主体となって進める事業だが、行政は身を引きすぎても良くない。行政側も、役割を意識しながら関わっていく。</li> </ul>
	(特任顧問退室)
【評価結果発表】	<p>(水野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの成果がすぐに出ることは無いが、特任顧問のこの2年間の取り組みは十分にやっていたといった。</li> </ul>
	<p>(中村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期待されている役割に対し、特任顧問は、一人でできる以上のことを担っている。</li> <li>・来年度から新たなフェーズにうつる。自走化に向け、違うタイプ、違うスキルを持った人材の発掘が必要である。</li> <li>・どの人材にどの役割と権限を渡すか、その再整理が必要になってくる。</li> </ul>
	<p>(佐野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度から次のフェーズに入る。ワークショップ以外の手法が必要である。</li> <li>・地元の人材育成が最も大切である。未だ育っていない場合は、対策を考えなければならない。この2年間だけを評価するのであれば合格点である。</li> </ul>
	<p>(市民経済部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半田市がまちづくりについて遅れをとった分を、この2年間で取り戻してくれたことには感謝している。</li> <li>・今後、ワークショップの次の手法を考えていく必要がある。人材発掘もしなくてはならない。</li> </ul>
	<p>(企画部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでワークショップの手法では限界が来ており、大変難しいと考える。</li> </ul>
評価結果発表	<p>(副市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価委員会では「実績を評価する」とし、評価内容を市長へ伝える。</li> </ul>